

1 歯科医師臨床研修「基本習熟コース」				
<p>【一般目標】</p> <p>個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科医療に必要な臨床能力を身に付ける。</p> <p>1) 医療面接</p> <p>[一般目標]</p> <p>患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度、技能を身に付け実践する。</p>				
【行動目標】	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①コミュニケーション・スキルを実践する。 ②病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)聴取を的確に行う。 ③病歴を正確に記入する。 ④患者の心理・社会的背景に配慮する。 ⑤患者・家族に必要な情報を十分に提供する。 ⑥患者の自己決定を尊重する。 (インフォームドコンセントの構築) ⑦患者のプライバシーを守る。 ⑧患者の心身におけるQOL(Quality of Life)に配慮する。 ⑨患者教育と治療への動機付けを行う。	講義、指導歯科医師・上級歯科医の診療の見学・介助、研修医による診療。	5症例	各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、監督下に患者を担当する。	患者対応、手技、プレゼンテーションをもとに総合的に行う。
<p>2) 総合診療計画</p> <p>[一般目標]</p> <p>効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。</p>				
【行動目標】	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①適切で十分な医療情報を収集する。 ②基本的な診査・検査を実践する。 ③基本的な診査の所見を判断する。 ④得られた情報から診断する。 ⑤適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。 ⑥十分な説明による患者の自己決定を確認する。 ⑦一口腔単位の治療計画を作成する。	講義、指導歯科医師・上級歯科医の診療の見学・介助、研修医による診療。	5症例	各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、監督下に患者を担当する。	研修・処置内容・口頭試問などで評価する。
<p>3) 予防・治療基本技術</p> <p>[一般目標]</p> <p>歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。</p>				
【行動目標】	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①基本的な予防法の手技を実施する。 ②基本的な治療法の手技を実施する。 ③医療記録を適切に作成する。 ④医療記録を適切に管理する。	講義、指導歯科医師・上級歯科医の診療の見学・介助、研修医による診療。	10症例	各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、監督下に患者を担当する。	研修・処置内容・口頭試問などで評価する。

4) 応急処置 [一般目標] 一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。					
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制		終了判定の評価基準
①疼痛に対する基本的な治療を実践する。 ②歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。 ③修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。	講義、指導歯科医師・上級歯科医の診療の見学・介助、研修医による診療。	5症例	各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、監督下に患者を担当する。		研修・処置内容・口頭試問などで評価する。
5) 高頻度治療 [一般目標] 一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身につける。					
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例数の数え方	終了判定の評価基準
①齶蝕の基本的な治療を実践する。 ②歯髄疾患の基本的な治療を実践する。 ③歯周疾患の基本的な治療を実践する。 ④抜歯の基本的な処置を実践する。 ⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。	1) レジン修復 2) インレー修復 1) 抜髄処置 2) 感染根管処置 1) 歯周病検査 2) 歯周基本治療 3) 歯周外科の介助 1) 普通抜歯 2) 難抜歯 3) 埋伏歯抜歯 1) 歯冠補綴 2) 部分床義歯 3) 全部床義歯	30症例	指導歯科医が研修医に患者を配当し、研修歯科医は上級歯科医、指導歯科医の指導の下、治療を行う。指導歯科医は研修歯科医の進捗状況を把握し、不足があれば指導歯科医等の患者の症例を配当する。	治療の流れを継続して経験した場合を1症例として数える。	目標達成の基準を合計30症例をし、①から⑤までの行動目標ごとに最低5症例以上を経験していることが必要。
(6) 医療管理・地域医療 [一般目標] 歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。					
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制		終了判定の評価基準
①保険診療を実践する。 ②チーム医療を実践する。 ③地域医療に参画する。	保健の講習会、カンアレンス、訪問歯科を経験する。	3症例	各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、監督下に患者を担当する。		レポートにより評価する。

2. 歯科医師臨床研修 「基本習得コース」 【一般目標】 生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科治療について知識、態度及び技能を習得する態度を養う。				
1) 救急処置 [一般目標] 生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度、技術を習得する。				
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①バイタルサインを観察し、異常を評価する。 ②服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。 ③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。 ④歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。 ⑤一次救命処置を実践する。 ⑥二次救命処置の対処法を説明する。	講義、指導歯科医師・上級歯科医の診療の介助し、研修する。	10症例	各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、監督下に患者を担当する。	研修・処置内容・口頭試問などで評価する。
2) 医療安全・感染予防 [一般目標] 円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識、態度、技術を習得する。				
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①医療安全対策を説明する。 ②医療事故及びヒヤリ・ハットを説明する。 ③医療過誤について説明する。 ④院内感染対策(Standard Precautionsを含む)を説明する。 ⑤ 院内感染対策を実践する。	院内リスクマネージャー委員会、感染対策委員会への出席。文献検索によるレポート作成。		各研修医を担当する上級歯科医、指導歯科医を決め、指導。各種委員会への出席。	口頭試問、レポートによる評価
3) 経過評価管理 [一般目標] 自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度、技術を習得する。				
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①リコールシステムの重要性を説明する。 ②治療の結果を評価する。 ③予後を推測する。	症例検討会での検討レポート作成		レポート作成の際のサポート	口頭試問、レポートによる評価

4) 予防・治療技術				
[一般目標]				
生涯研修のために、必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。				
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①専門的な分野の情報を収集する。 ②専門的な分野を体験する。 ③POS(Problem Oriented System)に基づいた医療を説明する。 ④EBM(Evidence Based Medicine)に基づいた医療を説明する。	講義、文献検索。 レポート作成。		レポート作成の際のサポート。	口頭試問、レポートによる評価。
5) 医療管理				
[一般目標]				
適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。				
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①歯科医療機関の経営管理を説明する。 ②常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。 ③適切な放射線管理を実践する。 ④医療破棄物を適切に処理する。	安全管理委員会への出席。文献検索。レポート作成。		レポート作成の際のサポート。	口頭試問、レポートによる評価。
6) 地域医療				
[一般目標]				
歯科治療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。				
[行動目標]	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	終了判定の評価基準
①地域歯科保健活動を説明する。 ②歯科訪問診療を説明する。 ③歯科訪問診療を理解する。 ④医療連携を説明する。	文献検索。レポート作成。		レポート作成の際のサポート。	口頭試問、レポートによる評価。